

科目名	総合日本語初級 I						
科目名(英)							
単位数	14単位	時間数	210時間	担当者	檜崎・今長・馬屋原・戸部田		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日本語の基本的な言葉と文法を学びます。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解でき、必要な行動を行うことができる。	
	○	○				自分の趣味や興味のあることについて説明したり、驚きやうれしさなど自分の気持ちとその理由を簡単な言葉で説明したりすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『みんなの日本語初級Ⅱ第2版』 本冊・文型練習帳・標準問題集・文法解説 スリーエーネットワーク 2013年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1 ～ 25	第1課～第25課 復習				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	26 ～ 41	第26課～第30課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	42 ～ 57	第31課～第35課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	58 ～ 73	第36課～第40課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	74 ～ 89	第41課～第45課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
90 ～ 105	第46課～第50課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを5回実施する。(2)まとめテスト(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	まとめテスト	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が70回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合日本語初級Ⅱ					
科目名(英)						
単位数	6単位	時間数	95時間	担当者	檜崎・今長・馬屋原・戸部田	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	日本語科(2年)1年					
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日常的な場面で使われる語彙や文法を学ぶ。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○	○				
	目標					
	日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ理解でき、必要な行動ができる。					
	○	○				
	身近で日常的な話題について会話ができる。					
	○	○				
	事前に準備をしておけば、簡単な連絡や質問、説明、短いスピーチなどができる。					
テキスト・教材 参考図書	猪狩美保他 『学ぼう！にほんご初中級』 専門教育出版 2018年					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1 ～ 5	第1課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	6 ～ 10	第2課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	11 ～ 15	第3課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	16 ～ 20	第4課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	21 ～ 25	第5課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	26 ～ 30	第6課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	31 ～ 35	第7課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	36 ～ 40	第8課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	40 ～ 48	第9課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	◎			
	確認テスト	◎	◎			
履修上の注意	出席が32回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					

科目名	読解初級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	副島 弘子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	いろいろなトピックのお知らせ、手紙、インタビュー、クイズ、アンケート、グラフなどを使って、「読む」ことに慣れ、「読む」楽しさを味わうことを目指します。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで必要な情報が取れる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『初級で読めるトピック25』 スリーエーネットワーク 2015年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1課～第16課(抜粋)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	2	第17課～第25課(抜粋)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	3	第26課・第27課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	4	第28課・第29課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	5	第30課・第31課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	6	第32課・第33課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	7	第34課・第35課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	8	第36課・第37課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	9	第38課・第39課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	10	第40課・第41課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	11	第42課・第43課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	12	第44課・第45課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	13	第46課・第47課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	14	第48課・第49課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	15	第50課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	聴解初級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今長 まゆみ		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	『みんなの日本語』の学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って聞き取る練習をします。ポイントをつかむ練習と細部まで正確に聞き取る練習を行います。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○	○				教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『聴解タスク25』 スリーエーネットワーク 2017年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1課～第16課(抜粋)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	2	第17課～第25課(抜粋)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	3	第26課・第27課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	4	第28課・第29課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	5	第30課・第31課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	6	第32課・第33課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	7	第34課・第35課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	8	第36課・第37課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	9	第38課・第39課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	10	第40課・第41課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	11	第42課・第43課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	12	第44課・第45課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	13	第46課・第47課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	14	第48課・第49課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	15	第50課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	会話初級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	檜崎 幸彦		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	『みんなの日本語』の学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って話す練習をします。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○			身の回りの日常的な場面で、よく使われる言葉を使って、簡単なやりとりができる。		
	○	○			自分についての簡単な質問に答えることができる。		
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『みんなの日本語初級Ⅱ 第2版』 スリーエーネットワーク 2013年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1課～第16課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	2	第17課～第25課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	3	第26課・第27課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	4	第28課・第29課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	5	第30課・第31課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	6	第32課・第33課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	7	第34課・第35課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	8	第36課・第37課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	9	第38課・第39課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	10	第40課・第41課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	11	第42課・第43課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	12	第44課・第45課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	13	第46課・第47課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	14	第48課・第49課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	15	第50課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	作文初級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	川野 さやか		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	『みんなの日本語』の学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って書く練習をします。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				自分の家族や町などの身近な話題について簡単に書くことができる。	
	○	○				将来の計画や希望について簡単に書くことができる。	
	○	○				自分の日常生活を説明する文章を書くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	門脇薫他 『やさしい作文』 スリーエーネットワーク 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	自己紹介				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	2	わたしの国・町				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	3	わたしの家族				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	4	週末				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	5	プレゼント				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	6	旅行				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	7	もしわたしが二人いたら				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	8	スピーチコンテスト原稿① 下書き				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	9	スピーチコンテスト原稿② 清書				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	10	はがき(暑中見舞い)				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	11	趣味				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	12	楽しい1日				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	13	日本でびっくりしたこと				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	14	わたしの夢				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	15	隣の人にひとこと				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
評価方法	(1)宿題を数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	宿題	○	○		◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合日本語初級 I						
科目名(英)							
単位数	14単位	時間数	210時間	担当者	檜崎・平間・藤井・馬屋原・副島・川野		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日本語の基礎となる言葉と文法を学びます。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。	
	○	○				学校、教室、店、駅などの身近な場面で簡単なやりとりをしたり、自分についての簡単な質問に答えたりすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『みんなの日本語初級 I 第2版』 本冊・文型練習帳・標準問題集・文法解説 スリーエーネットワーク 2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1 ～ 12	第1課～第3課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	13 ～ 28	第4課～第7課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	29 ～ 47	第8課～第12課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	48 ～ 63	第13課～第16課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	64 ～ 76	第17課～第19課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	77 ～ 89	第20課～第22課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	90 ～ 105	第23課～第25課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを7回実施する。(2)まとめのテスト(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	まとめのテスト	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が70回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合日本語初級Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	95時間	担当者	梶崎・平間・藤井・馬屋原・副島・川野		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日本語の基本的な言葉と文法を学びます。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解でき、必要な行動が取れる。	
	○	○				自分の趣味や興味のあることについて説明したり、驚きやうれしさなど自分の気持ちとその理由を簡単な言葉で説明したりすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『みんなの日本語初級Ⅱ第2版』本冊・文型練習帳・標準問題集・文法解説スリーエーネットワーク 2013年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1 ～ 5	第26課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	6 ～ 9	第27課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	10 ～ 12	第28課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	13 ～ 15	第29課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	16 ～ 23	第30課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	24 ～ 27	第31課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	28 ～ 32	第32課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	33 ～ 36	第33課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	37 ～ 40	第34課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
	41 ～ 48	第35課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が32回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	読解初級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	副島 弘子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	いろいろなトピックのお知らせ、手紙、インタビュー、クイズ、アンケート、グラフなどを使って、「読む」ことに慣れ、「読む」楽しさを味わいます。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○					
	目標 ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで必要な情報が取れる。						
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『初級で読めるトピック25』 スリーエーネットワーク 2015年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第6課・第7課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	2	第8課・第9課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	3	第10課・第11課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	4	第12課・第13課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	5	第14課・第15課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	6	第16課・第17課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	7	第18課・第19課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	8	第20課・第21課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	9	第22課・第23課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	10	第24課・第25課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	11	第26課・第27課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	12	第28課・第29課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	13	第30課・第31課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	14	第32課・第33課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	15	第34課・第35課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合日本語初級 I						
科目名(英)							
単位数	14単位	時間数	210時間	担当者	檜崎・今長・馬屋原・戸部田		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日本語の基本的な言葉と文法を学びます。						
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解でき、必要な行動を行うことができる。	
	○	○				自分の趣味や興味のあることについて説明したり、驚きやうれしさなど自分の気持ちとその理由を簡単な言葉で説明したりすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『みんなの日本語初級Ⅱ第2版』 本冊・文型練習帳・標準問題集・文法解説 スリーエーネットワーク 2013年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1 ～ 25	第1課～第25課 復習				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	26 ～ 41	第26課～第30課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	42 ～ 57	第31課～第35課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	58 ～ 73	第36課～第40課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	74 ～ 89	第41課～第45課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
90 ～ 105	第46課～第50課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを5回実施する。(2)まとめテスト(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	まとめテスト	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が70回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	聴解初級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	藤井 百合子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	『みんなの日本語』の学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って聞き取る練習をします。ポイントをつかむ練習と細部まで正確に聞き取る練習を行います。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他		
	○	○					
	目標 教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。						
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『聴解タスク25』 スリーエーネットワーク 2017年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第6課・第7課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	2	第8課・第9課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	3	第10課・第11課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	4	第12課・第13課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	5	第14課・第15課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	6	第16課・第17課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	7	第18課・第19課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	8	第20課・第21課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	9	第22課・第23課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	10	第24課・第25課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	11	第26課・第27課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	12	第28課・第29課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	13	第30課・第31課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	14	第32課・第33課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	15	第34課・第35課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	会話初級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	檜崎 幸彦		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	『みんなの日本語』の学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って話す練習をします。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○			身の回りの日常的な場面で、よく使われる言葉を使って、簡単なやりとりができる。		
	○	○			自分についての簡単な質問に答えることができる。		
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『みんなの日本語初級 I 第2版』 スリーエーネットワーク 2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第6課・第7課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	2	第8課・第9課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	3	第10課・第11課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	4	第12課・第13課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	5	第14課・第15課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	6	第16課・第17課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	7	第18課・第19課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	8	第20課・第21課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	9	第22課・第23課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	10	第24課・第25課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	11	第26課・第27課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	12	第28課・第29課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	13	第30課・第31課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	14	第32課・第33課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	15	第34課・第35課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	作文初級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	檜崎 幸彦		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	『みんなの日本語』の学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って書く練習をします。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		初級の言葉や文型を使って、文章の構成に注意しながら、自分の表現したいことを書くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	門脇薫 『やさしい作文』 スリーエーネットワーク 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	自己紹介			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	2	わたしの部屋			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	3	わたしの国・町			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	4	わたしの家族① 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	5	わたしの家族② 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	6	週末① 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	7	週末② 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	8	スピーチコンテスト原稿① 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	9	スピーチコンテスト原稿② 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	10	はがき(暑中見舞い)			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	11	プレゼント			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	12	旅行① 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	13	旅行② 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	14	もしわたしが二人いたら① 下書き			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	15	もしわたしが二人いたら② 清書			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
評価方法	(1)宿題を数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	宿題	○	○		◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合日本語初級Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	95時間	担当者	檜崎・今長・馬屋原・戸部田		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日常的な場面で使われる語彙や文法を学ぶ。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的な場面で、やや自然に近いスピードのまとまりのある会話を聞いて、話の具体的な内容を登場人物の関係などとあわせてほぼ理解でき、必要な行動ができる。	
	○	○				身近で日常的な話題について会話ができる。	
	○	○				事前に準備をしておけば、簡単な連絡や質問、説明、短いスピーチなどができる。	
テキスト・教材 参考図書	猪狩美保他 『学ぼう！にほんご初中級』 専門教育出版 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1 ～ 5	第1課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	6 ～ 10	第2課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	11 ～ 15	第3課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	16 ～ 20	第4課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	21 ～ 25	第5課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	26 ～ 30	第6課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	31 ～ 35	第7課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	36 ～ 40	第8課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	40 ～ 48	第9課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が32回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	読解初級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	副島 弘子		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	いろいろなトピックのお知らせ、手紙、インタビュー、クイズ、アンケート、グラフなどを使って、「読む」ことに慣れ、「読む」楽しさを味わうことを目指します。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで必要な情報が取れる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『初級で読めるトピック25』 スリーエーネットワーク 2015年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1課～第16課(抜粋)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	2	第17課～第25課(抜粋)			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	3	第26課・第27課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	4	第28課・第29課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	5	第30課・第31課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	6	第32課・第33課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	7	第34課・第35課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	8	第36課・第37課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	9	第38課・第39課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	10	第40課・第41課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	11	第42課・第43課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	12	第44課・第45課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	13	第46課・第47課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	14	第48課・第49課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
	15	第50課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	聴解初級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	今長 まゆみ		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	『みんなの日本語』の学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って聞き取る練習をします。ポイントをつかむ練習と細部まで正確に聞き取る練習を行います。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『聴解タスク25』 スリーエーネットワーク 2017年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1課～第16課(抜粋)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	2	第17課～第25課(抜粋)			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	3	第26課・第27課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	4	第28課・第29課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	5	第30課・第31課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	6	第32課・第33課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	7	第34課・第35課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	8	第36課・第37課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	9	第38課・第39課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	10	第40課・第41課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	11	第42課・第43課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	12	第44課・第45課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	13	第46課・第47課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	14	第48課・第49課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
	15	第50課			教科書付録リスニングCDの該当部分を30分以上聞くこと		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	会話初級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	檜崎 幸彦		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	『みんなの日本語』の学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って話す練習をします。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○			身の回りの日常的な場面で、よく使われる言葉を使って、簡単なやりとりができる。		
	○	○			自分についての簡単な質問に答えることができる。		
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『みんなの日本語初級Ⅱ 第2版』 スリーエーネットワーク 2013年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1課～第16課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	2	第17課～第25課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	3	第26課・第27課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	4	第28課・第29課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	5	第30課・第31課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	6	第32課・第33課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	7	第34課・第35課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	8	第36課・第37課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	9	第38課・第39課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	10	第40課・第41課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	11	第42課・第43課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	12	第44課・第45課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	13	第46課・第47課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	14	第48課・第49課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	15	第50課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	作文初級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	川野 さやか		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	『みんなの日本語』の学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って書く練習をします。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				自分の家族や町などの身近な話題について簡単に書くことができる。	
	○	○				将来の計画や希望について簡単に書くことができる。	
	○	○				自分の日常生活を説明する文章を書くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	門脇薫他 『やさしい作文』 スリーエーネットワーク 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	自己紹介				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	2	わたしの国・町				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	3	わたしの家族				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	4	週末				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	5	プレゼント				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	6	旅行				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	7	もしわたしが二人いたら				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	8	スピーチコンテスト原稿① 下書き				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	9	スピーチコンテスト原稿② 清書				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	10	はがき(暑中見舞い)				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	11	趣味				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	12	楽しい1日				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	13	日本でびっくりしたこと				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	14	わたしの夢				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
	15	隣の人にひとこと				授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)	
評価方法	(1)宿題を数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	宿題	○	○		◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合日本語初級 I						
科目名(英)							
単位数	14単位	時間数	210時間	担当者	檜崎・平間・藤井・馬屋原・副島・川野		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日本語の基礎となる言葉と文法を学びます。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。	
	○	○				学校、教室、店、駅などの身近な場面で簡単なやりとりをしたり、自分についての簡単な質問に答えたりすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『みんなの日本語初級 I 第2版』 本冊・文型練習帳・標準問題集・文法解説 スリーエーネットワーク 2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1 ～ 12	第1課～第3課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	13 ～ 28	第4課～第7課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	29 ～ 47	第8課～第12課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	48 ～ 63	第13課～第16課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	64 ～ 76	第17課～第19課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	77 ～ 89	第20課～第22課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	90 ～ 105	第23課～第25課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
評価方法	(1)授業の中で確認テストを7回実施する。(2)まとめのテスト(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	まとめのテスト	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が70回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	総合日本語初級Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	6単位	時間数	95時間	担当者	檜崎・平間・藤井・馬屋原・副島・川野		
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日本語の基本的な言葉と文法を学びます。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				日常的な場面で、ややゆっくりと話される会話であれば、内容がほぼ理解でき、必要な行動が取れる。	
	○	○				自分の趣味や興味のあることについて説明したり、驚きやうれしさなど自分の気持ちとその理由を簡単な言葉で説明したりすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他『みんなの日本語初級Ⅱ第2版』本冊・文型練習帳・標準問題集・文法解説スリーエーネットワーク 2013年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1 ～ 5	第26課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	6 ～ 9	第27課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	10 ～ 12	第28課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	13 ～ 15	第29課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	16 ～ 23	第30課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	24 ～ 27	第31課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	28 ～ 32	第32課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	33 ～ 36	第33課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	37 ～ 40	第34課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
	41 ～ 48	第35課				授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(2時間)	
評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が32回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	読解初級					
科目名(英)						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	副島 弘子	
実施年度	2020年度	実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	日本語科(2年)1年					
授業概要	いろいろなトピックのお知らせ、手紙、インタビュー、クイズ、アンケート、グラフなどを使って、「読む」ことに慣れ、「読む」楽しさを味わいます。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	
	○	○				
	目標 ひらがなやカタカナ、日常生活で用いられる基本的な漢字で書かれた定型的な語句や文、文章を読んで必要な情報が取れる。					
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『初級で読めるトピック25』 スリーエーネットワーク 2015年					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	第6課・第7課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	2	第8課・第9課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	3	第10課・第11課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	4	第12課・第13課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	5	第14課・第15課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	6	第16課・第17課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	7	第18課・第19課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	8	第20課・第21課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	9	第22課・第23課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	10	第24課・第25課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	11	第26課・第27課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	12	第28課・第29課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	13	第30課・第31課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	14	第32課・第33課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
	15	第34課・第35課			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない言葉を調べておくこと(30分)	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他
	定期試験	◎	◎			
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。					